



菊池北小学校 校訓 「夢と希望」「努力と挑戦」「自信と誇り」

夢叶える北小っ子

～居場所と出番のある学校～



令和7年8月29日 菊池北小便り NO. 10

文責：校長 内田

前期後半スタートです

26日(火)から、前期後半がスタートしました。みんなに話したいような、あるいは自分の中でずっと大切にしたいような、何かしらの発見や感想を持つことのできた夏休みだったでしょうか。

1日目の朝の子どもたちの登校の様子は声少なく…といった感じでした。でも、夏休み前より胸を張って元気に歩く児童の姿もあって、何かいい心の変化があったかな、と思いながら眺めました。

前期後半も引き続き、命と人権を守ることを一番に、学校教育活動を行ってまいります。



3年生、学活にて。夏休みの思い出を語る

先生たちも勉強しています



立門の眼鏡橋。校庭にレプリカがあります。本当にしっかり再現されています。



以前は遊べた場所。マナーの悪さで使えなくなったとのこと。

私たちはこんなに広い校区から来ているのだ、と驚くとともに、「ふるさと」という言葉が本当によく似合う素敵な場所ばかりだ、と魅力再発見でした。

夏休み中、社会教育指導員の井上先生と、地域学校協働活動推進員の森上さんの協力のもと、北中・小合同で「先生たちの地域探検」を実施していただきました。立門の眼鏡橋や龍門ダム、千疊河原、今は宿泊施設になっている旧東中学校など説明を受けながら、子どもたちの住む地域の様子やその魅力を自分たちの目で見て感じてきました。子ども

今年度から、草は市で処分してもらえるようになりました。



愛校作業お世話になりました



24日(日)は愛校作業でした。今年度は熱中症対策で子どもたちの参加は見合わせましたので、草の回収にいつもより時間がかかったところはあるかもしれませんが、前日は北中の作業ということで、2日連続の作業で休みにならなかったご家庭も多かったと思います。おかげさまで学校はすっきりして前期後半を迎えることができました。ありがとうございました。

【あの頃、スマホがなくてよかった…個人的な反省】

前期前半を振り返った時、時間を有効に使えなかった、精神衛生上、よくない行動をしてしまった、と反省しています。子どもたちにも集会で話しましたが、SNS等のネットに私自身がからめとられていて、30分とか1時間とか時間が過ぎていくのです。どんどん流れてくる、どちらかといえばマイナスな情報を次々に開けて、しかも寝る前に読んでいます。ふと気づくと、飼っている猫がじーっと私の方を見ていて、声をかけるとこちらへ来て膝に乗りました。ということは、私の目がスマホから離れるのを待っていた、ということ??しかも、この夏休み中、猫は病気になっていました。通院して元気にはなりましたが、今もまだ体は痩せています。毎日、一緒にいるのに気づけませんでした。もっと早く気づけば、こんなに痩せなくてすんだのに。猫に申し訳なく思うと同時に、自分の子育て中に、スマホというものがなくて本当によかった、と心から思った夏でした。